

平成20年2月19日

京情協 地域情報化委員会（19年度 第6回） 議事録

開催日時：平成20年2月19日（火） 17:00～17:50

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 新館 4階 会議室

参加者：和田、小林、木下、福本、桧山、中川、桂田（敬称略）

配布資料：地域情報化委員会（第6回）議題、添付資料①～資料④

議事：

1. 今期の活動計画に対する進捗状況

1) リクルートにおける大学との連携（資料①～③）

・下記[2]の報告を中心に、活動項目毎に正副委員長が以下の報告を行った。

[1] 学生向け業界解説資料（ガイドブック）の作成・配布について（担当：桧山氏）：

⇒他団体の既存資料を調査し、3種類の資料を収集した（宮城県の冊子、A3パンフレット、長野県の冊子）。紙媒体には学生は興味を示さない事が大学訪問ヒアリングで判明したため、単に大学の就職課に置いておくだけでは効果が薄いと考える。

例えば、業界イメージアップのセミナーなどの機会に配付するという事であれば有効かと思われるため、今後、そういったセミナー開催を検討する際にあわせて考える事とする。それまでの間、当活動については、一旦、中断する。

[2] 近隣大学との採用に関する長期的な連携確立を目指した広報活動（担当：福本氏）：

⇒立命、龍谷、佛教、京都学園大の4校を訪問ヒアリングした結果を福本氏が資料②の通りまとめられた。現在の学生の傾向をヒアリングし今後の活動に役立てる目的で行った活動であるが、実際に意外な情報・生の声を聴く事が出来、成果があった。全体的な所感としては、大学のランクにより傾向が異なり判りやすかったとのこと。売り手市場のため、京情協（企業側）からのアプローチ案に対し「間に合っています」的な声も聞かれた。学生は就職に対し情報過多になっており、大学からの就職フォローを当てにしていないそうだが、業界研究は各大学とも力をいれており、学生も興味を持っているようだとの話を聞いた。今後の活動のヒントになるのではないかと思われる。詳細については資料②を参照。

[3] 会員企業向け新卒採用支援セミナー開催について（担当：中川、桧山氏）：

⇒11/27に実施し、完了済み。

[4] 京情協主催の合同企業説明会の開催（KVBCとの共催も検討）について（担当：中川）：

⇒京情協単独の主催は難しく、KVBCとの共催で実施検討中。KVBC人材ネットワークでは合同企業説明会を年3回（5、7、10月）行い、そのうちの5月については学情との共催で検討中。KVBC会員企業は5万円/回だが、非会員は8万円/回ほど。学情との共催ではあるが、前年同様、メインフロアの隣の部屋を借りる形になりそうであるメインフロアには案内ブースを設けるとの事だが、前年のKVBCエリアへの訪問学生数は少なかった点を考慮すると、同様の形でどれだけの集客を見込めるかは疑問。最終判断は詳細が確定した後で行うこととする。

[5] 近隣の大学の学内企業説明会に京情協としてエントリーする件について（担当：中川）：

⇒大学には協力してもらえそうだが、各企業単独でもエントリー可能なため、京情協と

してエントリーするメリットは少ない。上記[2]のヒアリング結果も受けて、当活動項目については各企業で行う事とし、地域情報化委員会の活動項目からは外す。

[6] 諸々の採用に関する情報の会員企業への発信について（担当：桂田）：

⇒採用耳より情報（vol. 2）を京情協 HP に掲載した。各社のセミナー開催時期でもあるため、今回はセミナーの際に少しでも役立つような情報を発信した。Vol. 3 は大学訪問ヒアリング結果を発信予定。その他、面接の仕方や適性テストに関する情報を今後発信していきたい。発信タイミングは 1~2 ヶ月に 1 度の予定。当初は大学から情報提供をしてもらうことを想定していたが、上記[2]のヒアリングの結果、大学からの提供は難しそう。

2) IT コンソーシアム京都関係（中川から報告）

- ・前回から全く動きなし。

3) 京都自律移動支援プロジェクト実行委員会関係（中川から報告）

- ・2/28 に 2 回目の委員会が開かれる。中川が出席し、次回委員会にて報告する。3 月には京都府立植物園にて実証実験がある予定。

2. 来期の活動計画について（資料④）（中川から報告）

- ・資料④の通り活動概要を考えている。基本的には今期の活動内容を継承。リクルート活動がメインになると思われる。今期は新卒採用が中心であったが、来期は新卒採用支援セミナーアンケートでも要望があった中途採用についても幅を広げていきたい。また、新入社員向けの合同企業研修（人間力やマナーなど各企業共通の部分）なども検討していきたい。
- ・木下氏より、若手社員同士の横の繋がりを増やすための交流会（懇親会）の提案があった。
- ・具体的な活動内容については、大学訪問ヒアリング結果も参考にし、次回委員会で検討する。
- ・IT コンソーシアム関係については、今期、地デジ部会は 2 回開かれているがそれ以外の 3 部会は活動を殆ど行っていないため、来期の活動状況を確認した上で、活動がないようならば来期計画からは除外する。
- ・来期は、出来れば担当も増やしたい。また委員も増やしたいと考えている。

3. その他（小林氏からの参考情報）

- ・2 月に小林氏が宮城県を訪問され、宮城県の IT 企業でも個別の採用活動が難しい状況になっている旨の報告があった。3 月には北海道を訪問予定で、北海道でも参考になるような情報をヒアリングしたいとの事であった。
- ・以前に小林氏から依頼のあった同志社大学の工学部学生向けの講義については、個別に 2 企業に講師を依頼、正式に 2008 年後期に 14 回シリーズで開催することになったとのこと。最終講義日に発表会を行う予定をしており、出来ればその時に京情協の方も参加して講評してもらえれば嬉しいとの依頼がなされた。協力できる事があれば協力したい旨の回答が中川よりあった。

以上